

# 提言 9

## 図書館・公民館・学校による地域教育のネットワークを

学校が地域に広く開かれた施設をめざすためには、図書館・公民館といった社会教育施設とも有機的な連携がはかられなくてはなりません。

学校で地域の高齢者の方にまちの歴史を教えてもらったり、公民館の事業にまちの「つり名人」に来てもらったり、公共図書館と学校図書館が相互に本の貸し借りをしたり、いろいろな方法が考えられます。たとえば、東京都の千代田区立昌平小学校では、小学校と幼稚園、まちかど図書館や児童館がひとつの建物の中にあります。

さらに、学校が保育園・児童館・相談所などの社会福祉施設と結びついていくことが必要です。そのためには、これまでバラバラに行われてきた自治体の縦割り行政を克服することが求められています。

その自治体に住んでいる市民にとって、教育委員会の施設かどうかは、大きな問題ではありません。多様な市民のニーズに応えようとするならば、今後とも施設の複合化をすすめていかなければなりません。

しかし、施設の複合化がすすんでも、自治体職員の意識改革が伴わなければ、サービスの向上にはなりません。施設というハード面だけでなく、意識や組織などのソフト面の改革も必要です。また、社会教育施設においても、学校協議会と同等の各種協議会を設置し、その運営・意志決定に市民が参加できるシステムがなくてはなりません。

それぞれの施設独自の機能を果たしつつ、他の施設と地域の中で密接な連携をはかりながら、ともによりよいサービスを提供し、まちづくりに貢献する施設のネットワーク化が求められています。



●東京都千代田区立昌平小学校

6F	小学校	屋上校庭(開閉式ドーム)			
5F	児童館	学童クラブ室、幼児室、事務室 他			体育館
4F	小学校	普通教室、学校ホール、音楽室、理科室 他			
3F		普通教室、学年ホール、職員室、コンピュータ室 他			多目的ホール
2F		昇降口、普通教室、学年ホール、家庭科教室			
1F		図書館	まちかど図書館	幼稚園	駐車場
B1	給食厨房、倉庫 他		防災倉庫、機械室 他		
B2	温水プール 他		プール監視室、機械室 他		